



# 海上安全だより

## 海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部  
交通部  
平成22年10月 No. 15



北海道では、381基(H22.8現在)の灯台、灯浮標などが日夜**航海の安全**のため灯を点しています。  
大事な「道しるべ」ですので**汚したり、壊さないで下さい**。  
また、光が消えていたり、壊れているのを見かけたら最寄の海上保安部に連絡をお願いします。



光の灯台は、**昼は塗色、夜間は灯光**によって港の入り口や船の変針点などの目印、目標物とされています。

- ◆Q1 灯台の光り方はどのように決められているか御存知ですか。
- A1 船が一般の灯火や付近にある灯台と容易に識別でき、誤認しないように国内の基準等により定められています。  
港に向かって右舷側の防波堤の灯台は**赤色**、左舷側の灯台は**緑色**に光ります。
- ◆Q2 带状に色がついた灯台がありますか？
- A2 主に岬などに設置された灯台で北海道や日本海側の雪国では、冬季、雪のため背景が白一色になり灯台が見つけにくくなるので黒色や赤色を使用して、赤白横じまや白黒横じまに塗っています。



LED灯器

海上保安庁では、地球温暖化防止(CO2削減)のため、灯台等の省エネ・エコロジー化(電源の太陽電池化や光源のLED化)を進めています。  
灯台では今年度末で262基(全体の74%)の整備が完了します。





**灯台が設置されている岬や港です。**  
正しく読めますか??

5 水垂岬  
4 音調律港  
3 力屋港  
2 富士港  
1 能取岬



1 能取岬  
2 富士港  
3 力屋港  
4 音調律港  
5 水垂岬



## <事例> 苫小牧西港入港船のAIS情報(船位)ずれの是正について

9月11日、苫小牧西港に停泊中の外国船籍貨物船(総トン数8,414トン)のAIS装置による位置情報と、実際に停泊している位置とに約380mのずれが生じていることが確認されたため調査したところ、同船搭載AIS装置の位置情報の設定に誤りがあり、実際とは異なる航跡で入港していることが判明しました。  
代理店を通じて貨物船へ正しい位置情報を入力するよう指導を行ったところ、適正な位置情報を送信するようになりました。



本事例と同様、**AIS船位情報の誤りにより注意喚起が出来ず**、船舶(漁船)の**乗揚海難**に至った事例が昨年5月末、伊豆半島石廊崎沖において発生しております。  
AISの航海関連情報の誤りは、**他船に間違った認識を与え、衝突等の事故にも繋がる**可能性があることから**適正な入力**をお願いします。

### AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで  
TEL 0134-27-0118  
(内線: 2615、2623)

次号へ続く～